緑のサポーター交流広場「みどりのカフェ」レポート

１２月１９日（水）**みどりのレッスン**を開催しました。

今回は、「クリスマスからお正月に飾れる寄せ植えづくり」をテーマに、ガーデナーの井上先生に講義していただきました。

前半の講義では写真を見ながら季節感が出る花苗を学びました。
クリスマスからお正月に飾れる寄せ植えとして、以下の点が重要だそうです。

①耐寒性のある植物を選ぶ
②葉物をうまく利用する
③寒くても開花する、開花期の長いものを選ぶ
④クリスマスは、シルバーリーフ(シロタエギク、エレモフィラなど)エリカなどがおすすめ
⑤お正月は、松、オタフクナンテンなどが合う。また、寄せ植えの表面に苔を張り石を配すとお正月らしさが出る。
⑥ハボタンは、白や紫、緑など様々な品種があり、品種を選べばどちらのイメージにも合う。(右写真)

後半は、テーマに合わせた寄せ植えを行いました。エリカ・ホワイトデライト、ハボタン、ガーデンシクラメン、ビオラの４苗を植えつけました。

エリカの苗は良く育っていて根が全体を覆っていたため、水をよく吸えるように、ハサミで根を切り植えました(右写真1)。
水切れすると、写真２のようにくたっと萎れた状態になります。
エリカは将来樹木になるため剪定を行わないと枝があばれます。春以降に半分ぐらいに剪定しましょう。

写真１

写真２

ハボタンは植え付けの際に斜め前に向けると見栄えが良いです。土が乾燥したら水をあげましょう。

井上先生